

## 経営改善計画

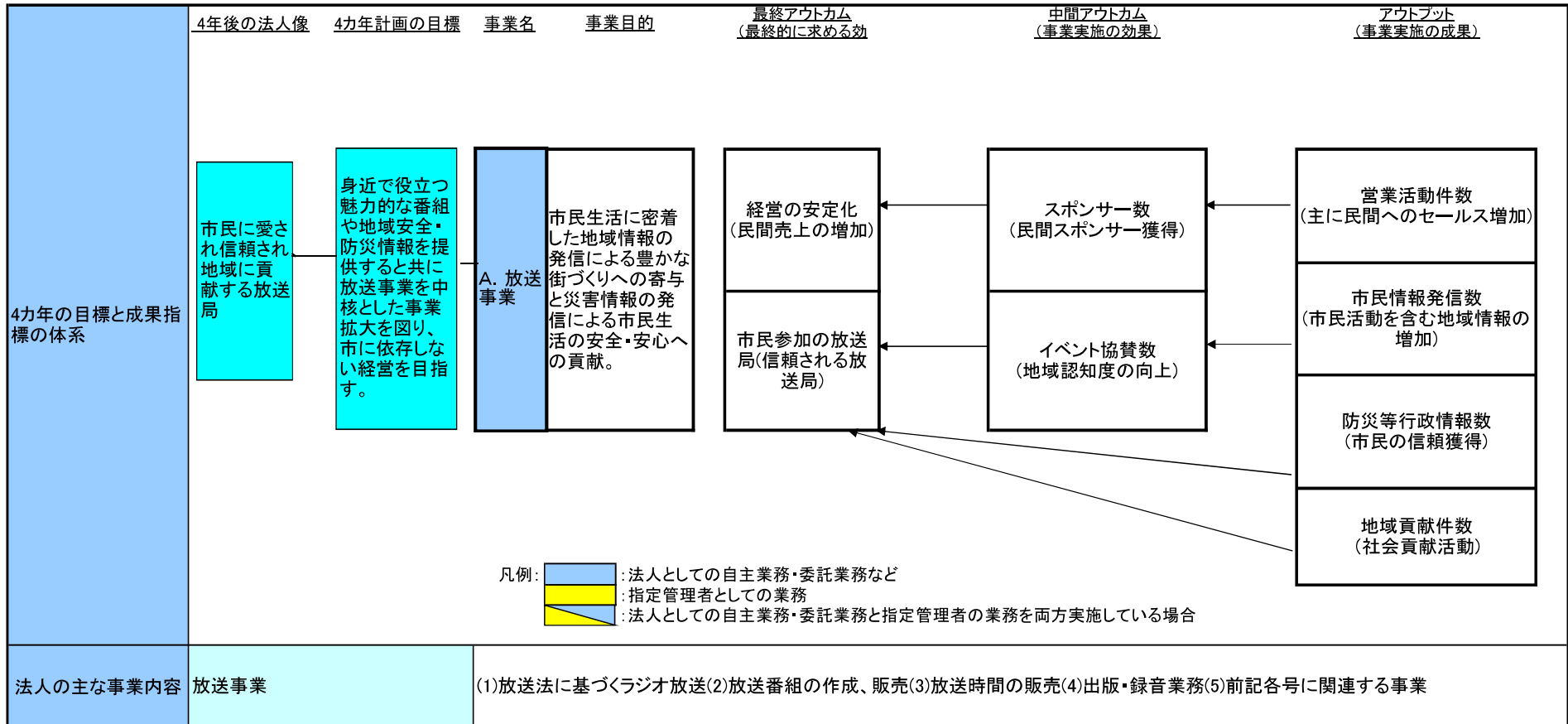
法人名	かわさき市民放送株式会社	所管部署	総務企画局シティブロモーション推進室広報担当
-----	--------------	------	------------------------

### 【1:経営の基本的考え方】

川崎市が期待する役割と経営改革	<p>①期待する役割 川崎市内を放送エリアとする唯一のコミュニティFMとして、広域ラジオやテレビなどのメディアではカバーしきれない市民向けのきめ細やかな情報を発信する機能を有していることから、市政情報や地域安全・防災などの市民生活に役立つ、地域に密着した情報をはじめ、音楽、芸術、スポーツ、イベントなどの市の魅力情報の発信を行う。 特に、災害時においては、地域防災計画に規定されている重要な情報媒体として、総務企画局危機管理室と連携を図りながら、災害応急・復旧時に市民に不可欠な情報を的確かつタイムリーに放送する。</p> <p>②経営改革項目 市内に特化した地域情報、災害情報などの提供というコミュニティFMとしての役割を一層発揮していくとともに、さらなるコスト削減やスポンサー収入増加に向けた積極的な営業活動を法人自らが主体的に実施していきながら、黒字決算の維持と累積損失の着実な解消を進め、本市に依存しない財務体質の確立を図っていく。</p>
法人のミッション	地域社会に密着した市民が主人公のコミュニティFMとして、川崎市の豊かな街づくり、市民生活の安心安全に貢献する。
現状及び課題の分析	川崎市のコミュニティFMとして、市政情報や安全・防災等の市民に役立つ情報から、音楽・芸術・スポーツ等文化的な情報まで地域密着の放送を継続しており、災害時には市民が必要とする地域のきめ細かい情報を迅速且つ的確に放送出来るよう備えている。会社設立時に市民から期待された役割は、東日本大震災の経験を踏まえ一層重要になってきている。一方、武蔵小杉地区再開発に伴う高層マンション建設等によりFM送信電波への影響が懸念される状況となっており、既存受信エリアの確保に向け送信所対策を講じる必要がある。 また、インターネットの普及によるメディアの多様化により、既存メディア特にラジオ事業の経営は年々厳しさを増している。市民の期待に応え、市の発展に貢献する為には、経営の安定が第一であるが、毎年、市が放送委託料の見直しを行っている現状で、放送外収入の拡大等にも取り組み民間売上の一層の増大を図る必要がある。同時に、収益の確保により、設立時より続く累積損失の解消に努める。
経営ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 市政情報、安全・防災情報や身近な役立つ情報を発信する地域密着のコミュニティFM。</li> <li>▪ 市民参加の番組編成を重視し、音楽・芸術・スポーツ等文化的に魅力ある番組を作成。</li> <li>▪ 自立的経営を行うため、民間売上の増により収益の確保を図り、累積損失削減を継続。</li> </ul>

## 経営改善計画

法人名	かわさき市民放送株式会社	所管部署	総務企画局シティブロモーション推進室広報担当
-----	--------------	------	------------------------



## 経営改善計画

法人名	かわさき市民放送株式会社	所管部署	総務企画局シティプロモーション推進室広報担当
-----	--------------	------	------------------------

4か年の経営課題 (必ず財務の視点と業務の効率化の視点を含める)	放送事業	(1)防災等行政情報の発信と共に市民からの情報提供や番組参加等を拡大する。(2)営業活動に積極的に取り組み、民間スポンサーの獲得に邁進する。(3)魅力ある番組を作成すると共に放送外事業の開拓を図る。
	財務改善	(1)売上高の民間比率:45%(2)毎期の収益確保(3)確実な累損削減
	業務・組織の改革	(1)業務体制の最適化(2)聴取状況の調査(3)人材の確保・育成(4)送信所移設への対応

経営改善計画

法人名	かわさき市民放送株式会社	所管部署	総務企画局シティブロモーション推進室広報担当
-----	--------------	------	------------------------

指標と目標値の設定根拠	項目	指標の種類	指標	指標の選定理由	目標値(単位)	目標値の設定根拠	
	放送事業	アウトプット	営業活動件数	営業活動件数	商店・企業等への個別セールス活動はスポンサー増、売上増に繋がる。	900(社)	全員営業体制で、1日当たり4社の営業活動を目指す。
		アウトプット	市民情報発信数	市民情報発信数	市民活動の紹介、地域情報の提供は「かわさきFM」の認知度、必要度を表す。	1600(件)	市民情報発信枠の拡大を図り、様々な地域情報を出来るだけ多く取り上げる。
		アウトプット	防災等行政情報数	防災等行政情報数	市民生活に役立つ必須の情報であり、安全・安心に寄り市民からの信頼に繋がる。	9300(件)	市政情報、地域安全・防災情報に加え、身近な地域情報の発信拡大に努める。
		アウトプット	地域貢献件数	地域貢献件数	職業体験受入やエコ番組放送を通じての社会貢献活動を継続する。	100(回)	職業体験は放送業務に支障が生じない範囲で受入を拡大する。
		中間アウトカム	スポンサー数	スポンサー数	スポンサー数の増加は民間売上増に繋がる重要な指標となる。	165(社)	ラジオ広告出稿の減少傾向は継続しているが、積極的な営業活動により何とか増加を図りたい。
		中間アウトカム	イベント協賛件数	イベント協賛件数	イベントへの協賛はメディアとしての信頼感や存在感を表す。	40(件)	地域・地元イベントを中心に「かわさきFM」として相応しいものについて協賛する。
		最終アウトカム	経営の安定化	経営の安定化	安定した放送を維持する為、民間からの売上額の増加を図る。	3700(万円)	平成28年度売上高(見込額:8,300万円)の民間比率を45%とする。
		最終アウトカム	市民参加の放送局	市民参加の放送局	市民の番組出演は身近で信頼される放送局の実現に繋がる。	400(人)	毎月30人以上の市民の参加を目標とする。
	財務改善		民間売上比率	民間売上比率	収益確保並びに市に依存しない財務体質実現に向けて、民間売上比率の増が不可欠である。	45(%)	経営の安定化のため、民間売上の大幅な増が必要となる。
毎期の収益確保			毎期の収益確保	毎期着実に収益確保する。	2,500(千円)	市委託料は今後も運減の見込みであり、民間売上増並びに経費削減等により収益確保を目指す。	
繰越欠損金の削減			繰越欠損金の削減	開局以来の累積欠損金の早期解消を図る。	▲15(百万円)	毎期確実に利益を確保することにより実現する。	
業務・組織の改革		業務体制の最適化	業務体制の最適化	限られた人材での業務遂行の効率化を図る。	見直完了	マルチ業務化を図り、人材の少数精鋭化を推進する。	
		聴取状況の調査	聴取状況の調査	リスナーの聴取実態を正確に把握し、放送品質の向上に繋げる。	2(回/年)	ホームページ上でのアンケート等を年間2回以上実施する。	
		人材の確保・育成	人材の確保・育成	将来を担う人材の確保・育成を継続的に進める。	見直完了	キーマンの高齢化に対応し、必要な人材の確保・育成が急務となっている。	
		送信所移設への対応	送信所移設への対応	再開発ビル建設に伴うアンテナ移設を着実に進める。	実施予定	再開発ビルの建築・竣工スケジュールに合わせて総務省への申請等の対応する必要があるため。	

経営改善計画

法人名	かわさき市民放送株式会社	所管部署	総務企画局シティプロモーション推進室広報担当
-----	--------------	------	------------------------

【2:行動計画】

計画期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日 ( 4 カ 年 )
------	--

(1)放送事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
営業活動件数	1日当たり3社以上、年間約700社の営業活動中。	・営業担当に加え、他スタッフを含め、全員での営業活動を強化する。	830社	860社	900社	920社
市民情報発信数	ワイド番組内でのコーナー枠の他、イベント情報等については適宜番組内で紹介。	・出来るだけ放送枠を確保し、市民活動や様々な地域情報をタイムリーに放送する。	1530件	1560件	1600件	1620件
防災等行政情報数	主に提供番組の中で市民へ諸情報を提供中。	・地域安全、防災情報の充実を図り、情報発信数の増を目指す。	9100件	9200件	9300件	9400件
地域貢献件数	中学生の職業体験等の受入、地域密着のエコ活動番組を放送中。	・社会貢献活動の一環として引き続き、活動を継続する。	85回	90回	100回	105回
スポンサー数	ラジオCMの出稿は減少傾向にあるが、放送外スポンサーの獲得に取組んでいる。	・スポットCM等の地域を中心にした小口スポンサーの取込みを強化すると共に、他の媒体と連携した新規企画等を検討する。	155社	160社	165社	170社
イベント協賛件数	「かわさきFM」のブランド力もあり、イベント協賛の依頼は増加傾向にある。	・地域のイベントとして相応しく、局のイメージに合うものに対し、出来るだけ協力する。	30件	35件	40件	45件
経営の安定化	平成25年度民間からの売上見込み額:約30百万円	・全員営業で民間スポンサーの拡大を図ると共に、放送外事業の開拓を行う。	32百万円	34百万円	37百万円	38百万円
市民参加の放送局	平成25年度見込み約300人	・市民が気軽に出演できる番組作りを目指す。	330人	360人	400人	420人

経営改善計画

法人名	かわさき市民放送株式会社	所管部署	総務企画局シティブロモーション推進室広報担当
-----	--------------	------	------------------------

(4)財務の改善

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
民間売上比率	売上高に占める民間売上の比率;39%(平成25年度見込み)	・民間売上を増大し、平成28年度の民間売上比率の目標を45%とし、市委託料比率の逡減を図る。	40%	42%	45%	48%
毎期の収益確保	平成20年度以降、収益確保を継続中。	・民間売上の増を継続し、毎期の収益を確保する。	2,000千円	2,500千円	2,500千円	1,000千円
繰越欠損金の削減	平成25年度末見込み;▲約22百万円	・累積欠損金削減を毎年継続する。	▲20百万円	▲18百万円	▲15百万円	▲14百万円

(5)業務・組織の改革

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
業務体制の最適化	専門的業務が特定の人材へ集中しており、放送業務の安定化のためには業務体制の見直しが急務。	・既存人員での業務代替体制を検討し、業務のマルチ化を推進する。	検討	実行	完了	完了
聴取状況の調査	リスナーの聴取事態意把握については、前回計画時から、ホームページ上のアンケートで実施。	・費用面からもホームページ上でのアンケート等が現実的であるため、今後とも年2回以上実施する。	2回/年	2回/年	3回/年	3回/年
人材の確保・育成	放送業務に精通した人材の不足が、将来の事業運営上の不安材料。	・中高齢経験者の活用を計ると共に、現スタッフの能力のブラッシュアップを行う。	検討	実行	完了	完了
送信所移設への対応	再開発ビルの建設に伴う送信所の移設について、総務省認可に向けて調整中。	・アンテナ移設の実施に向けて、国(総務省)、建設業者、関係部署との調整を行いながら的確に対応する。	調整	調整	実施予定	実施予定

# 資 金 計 画 表

[ 平成26年度～平成29年度 ]

法人名: かわさき市民放送株式会社

(単位:千円)

項 目			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収支	収入	事業収入	32,000	34,000	37,000	38,000
		営業債権増加高				
		補助金収入				
		委託費収入	48,000	47,000	46,000	40,000
		寄付金収入				
	雑収入					
	...					
	...					
	<b>経常収入合計</b>		80,000	81,000	83,000	78,000
	支出	事業費	37,500	37,500	38,500	39,000
管理費		38,500	38,500	39,500	37,000	
減価償却費(△)						
貸倒引当金繰入(△)						
退職給付引当金繰入(△)						
営業債務増加高(△)						
法人税等支払		2,000	2,500	2,500	1,000	
...						
<b>経常支出合計</b>		78,000	78,500	80,500	77,000	
<b>経常収支</b>		2,000	2,500	2,500	1,000	
投資収支	固定資産取得支出					
	固定資産売却収入					
	...					
<b>投資等収支</b>		0	0	0	0	
財務収支	借入れによる収入					
	借入金償還による支出					
	利息/配当金の支払					
	<b>財務収支</b>		0	0	0	0
<b>現金預金増加高</b>		2,000	2,500	2,500	1,000	
<b>期首現金預金</b>		71,000	73,000	75,500	78,000	
<b>期末現金預金</b>		73,000	75,500	78,000	79,000	